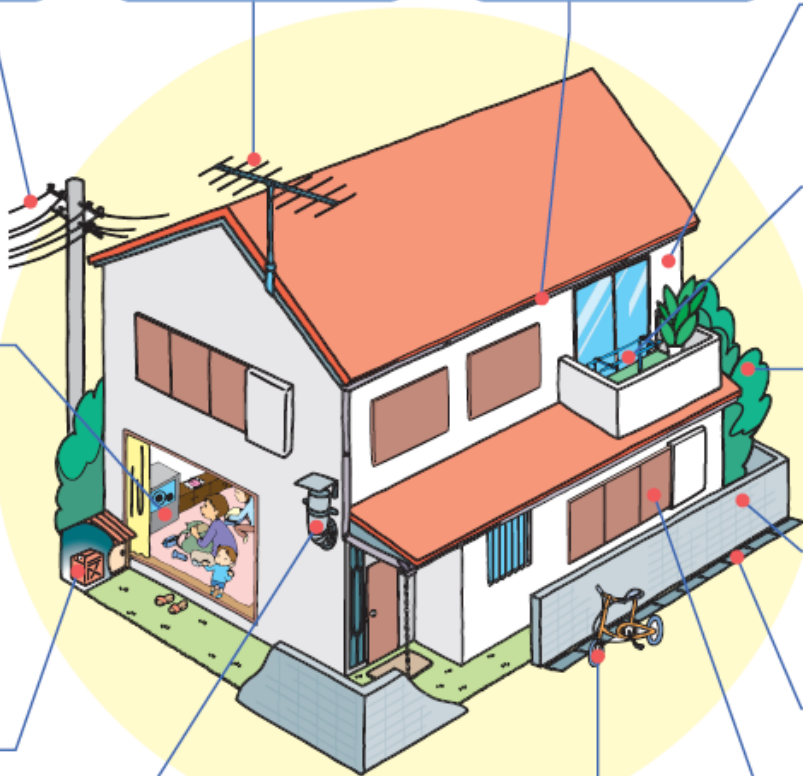


風水害

風水害に備えて

台風や豪雨などによる風水害は、対策いかんで最小限に止めることができるもの。気象情報には充分注意して、早目の備えを心掛けましょう。



電線がたるんでいたり、木の枝が触れていないか注意。

テレビアンテナに支線を張るなど補強する。

雨どいに土や落ち葉が詰まって、排水が悪くなっていないか。

床上浸水に備え、家財道具を2階などに移動する。

外出はひかえ、家族揃って気象情報に注意する。

水の貯めおきや緊急食品のストックなどの用意をする。

緊急避難に備えて非常持出し品の点検。

停電に備えて、電池の予備の補充やトランジスタラジオ、懐中電灯の準備。

物干し竿、植木鉢などが飛ばされないよう屋内に入れる。

庭木の枝が折れかかっていたり、倒れる心配はないか。

ブロック塀などにひび割れがはいっていないか注意。

近所と協力して排水溝の整備をしておく。

納屋や物置小屋に、ガソリンや農薬など、流出の危険はないか。

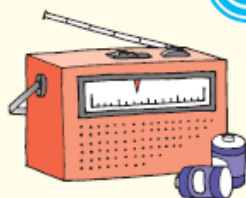
煙筒の支持補強や屋根のトタンに破損箇所がないかチェック。

家のまわりに飛ばされたり、破損するものがあれば、固定したり屋内に入れる。

雨戸のない窓には板などを打ちつけ、飛来物による破壊から守る。

風水害の安全対策4ヶ条

①



ラジオ、電池の備えを!

停電でテレビやラジオから情報が得られなくなるということのないように、トランジスタラジオ、電池の備えを。

②



防災広報を聞く!

防災関係の放送を聞きのがさないよう、テレビなどのボリュームは控え目に。

③



早目の準備を!

情報を軽く考えないで、早目、早目の準備と対応を。

④



すみやかな行動を!

特に傾斜地、がけ、河川の付近では注意が必要。避難勧告が出たらすみやかに行動を。